

2014年7月25日

高純度アルミ箔の中国拠点の能力増強を決定

昭和電工株式会社（社長：市川 秀夫）は、アルミ電解コンデンサーの主要材料である高純度アルミ箔の中国での生産能力増強を決定いたしました。昭和電工アルミ（南通）有限公司（以下、SDAN）の月産能力を現在の400トンから600トンに増強し、来年1月からの稼働を目指します。

SDANは中国国内のお客様にタイムリーに高純度アルミ箔を供給する現地生産拠点として、当社堺事業所から供給する中間製品の最終加工を行っています。2013年9月に量産を開始しましたが、産業機器向けの需要拡大などを背景にSDANで生産する高圧用箔*が中国で市場拡大していることから、今回、増強を決定いたしました。堺事業所と南通を合わせた月産能力は、3,000トンで変わりありません。

アルミ電解コンデンサーは、家電製品からIT機器、電気自動車やハイブリッド車、新エネルギー分野まで幅広く使用されており、特に中国ではエコカーや太陽光発電のパワーコンディショナー向けに需要伸長が見込まれています。当社グループは今後とも、高品質の高純度アルミ箔を安定的に供給することで、世界のアルミ電解コンデンサー市場の拡大にタイムリーに対応してまいります。

*アルミニウムの純度が99.99%以上の電解箔。200V以上の耐電圧性を有す。

以上



昭和電工アルミ（南通）有限公司

◆ 本件に関するお問合せ先：昭和電工（株）広報室 03-5470-3235

